

ふんね

やまざと

VOL.53

[3月定例議会号]
令和元年5月15日

題字揮毫者：大里耕守氏



「南関町消防団」幹部のみなさん
『生の声を聴く』コーナー(14頁)に登場



南関町消防団

■団員数：446人(2019.4.1)

■主な活動：消防団は、市町村の消防機関ですが、それを支える消防団員は「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づいて参加し、地域住民を守るために昼夜を問わず消防活動にあたっています。

なんかんのギカイ

南関町議会の内容を分かりやすくお伝えします。

3月6日臨時議会で決定しました。

新しい議長体制で、まちづくり



議長 橋永芳政

に、その責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。もとより微力ではございますが、町民に信頼される議会運営に努め、町民福祉の充実に繋げてまいり所存でございます。

信頼される議会運営、議会の機能強化を図る

町民の皆様には、日頃より町議会の活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

この度、議員各位のご推挙により、議長就任いたしました。この上もなく光栄に存じますとともに

さて、少子高齢化の進展に伴い南関町の人口が減少している中、さまざまな課題が顕在化してきております。当町においてもその解決に向けた施策を積極かつ迅速に進めていく必要があります。一翼を担う町議会の役割もますます大きくなっていると考えております。議会といたしても、町民の皆様の声をしっかりとして行政に届け、更なる議員の資質向上と議会の機能強化を図るとともに、一層の議会改革を進め、公正公明な議会運営に努めてまいりたいと存じます。

また、今年度は庁舎建設に伴いコンパクトシティ構想という重責を担いますが、議員一同がより一層連携を密にし、職責を果たしてまいり決意でございます。

町民の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長

監査委員

有明広域行政事務組合議員

境田敏高

打越潤一

立山秀喜・杉村博明



	文教厚生常任委員会	総務産業常任委員会	広報常任委員会	議会運営委員会
委員長	井下忠俊	立山比呂志	中村正雄	鶴地仁
副委員長	北原浩一郎	打越潤一	西田恵介	立山秀喜
委員	酒見喬	橋永芳政	鶴地仁	杉村博明
委員	鶴地仁	立山秀喜	北原浩一郎	立山比呂志
委員	境田敏高	杉村博明		井下忠俊
委員	中村正雄	西田恵介		北原浩一郎

平成31年度 施政方針

平成31年第2回南関町議会定例会の開会に当たり、平成30年度補正予算案、平成31年度当初予算案、その他諸議案のご審議をお願いいたしますとともに、施政方針を申し述べ、議員の皆様並びに町民の皆様に一層のご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

昨年は、全国的に災害が多い年で、南関町でも集中豪雨により災害が発生しました。今年こそは、災害がない穏やかな年として、安全・安心に暮らしていただけるよう、常日頃からの危機管理体制の確立が重要なことを改めて肝に銘じております。

本年は、天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に伴う国の儀式が執り行われるとともに、30年余り続いてきた平成の元号が新しい元号となる新しい時代の幕開けの年であります。5月から新しい元号となり、南関町も新しい時代に向けて、更なる発展へと繋げる年にしなければならないと思います。

このような中、本町の人口は減少を続けており、2月末の高齢化率も38%となりました。町の継続的な発展のために、行財政改革による無駄の排除、更なる自主財源の確保に努めなければなりません。

地方交付税配分額の増が見込めない中、厳しい状況が続きますが、住民の皆様方が安全安心で心豊かに暮らせる質の高い行政運営を行っていくことは、行政の責務であり、信頼される自治体として、分権時代にふさわしい行政サービスに努めていきます。

平成31年度から「南関町総合振興計画」・第6次基本構想・基本計画がスタートします。基本構想の将来像を『新しい未来（とき）の幕開けとともに新たなチャレンジができる町』とし、新庁舎建設を機に、南関版コンパクトシティの実現に向け、新たな一歩を踏み出します。夢や希望を叶えるための新たなチャレンジを地域住民、各種団体、行政が一体となった「チーム南関」で支え合い、誰もが住みやすいまちづくりを目指すものであります。議員の皆様、町民の皆様お一人お一人の力をお貸しいただきながら、その実現に向けて頑張る所存であります。

本年度の事業としては、いよいよ新庁舎建設工事に着手する年であり、ふれあい広場、調整池、進入道路等の整備も併せて行い、2020年9月の新庁舎開庁

に向けて事業を進めて参ります。

また、温泉施設を閉鎖することになる南の関うから館の活用計画等も含めた南関版コンパクトシティ構想も、策定委員会の設置を進めています。具体的な構想の検討をしていただくとともに、1,000人を対象としたアンケート調査を実施し、町民の皆様の思いを把握できればと思います。



町長 佐藤安彦

各課の計画のほかにも、開かれた行政運営の推進のため、皆様方のご意見やご要望を伺う地域懇談会を本年度も引き続き開催します。町政に対する理解を深めていただくための「南関町協働のまちづくり出前講座」も、広く周知して積極的に計画していきます。

最後に、町職員の意識改革について、一人ひとりが地域住民の皆様方の意見や要望を理解し対応できるよう育成に努めるとともに、全ての職員が笑顔で挨拶ができる明るい職場づくりを推進していきます。

このような重点施策を中心に、総合振興計画の基本構想・基本目標の「産み育てやすい環境の整備」「住む場所と働く場所の確保」「高齢者や障がいがある方も安心して暮らせる環境の整備」をまちづくりの3本の柱として、本当に住んでよかったと思っただけの誇れる協働のまちづくりに取り組んで参る所存でございます。

今後とも、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



この議案で質疑されました。



1 〈第14号議案〉平成31年度南関町一般会計予算について

質疑 また事前の説明がなく突然予算計上された案件がある

- 1年前にも突然計上された案件があり、質問し反対した。コンパクトシティ検討委員会の担当課長として取組み方を危惧する。議会に対しての進め方はどう思っているか？(中村)
- (まちづくり課長) 議会に対しては事前に説明をし、議論した見解を持ってこれるように早目早目に進める。

質疑 庁舎建設基金の平成32年度以降の考えについて

- 南関高校校舎は耐用年数は20年前後、今後人口減少に向かうので長い期間での基金積み立てが、町民負担少ないと考える、どんな計画か？(西田)
- (総務課長) 中期の財政見通しは財源不足で、基金の取り崩しで平成35年がピークと厳しい状態が続く。その後財政引き締めながら積み立てられる基金が出来るようにしたい。

質疑 高度化利用の積み残しが毎年あることについて

- 要望と積み残しは何件だったのか。毎年数件ずつあり、町の基盤産業である農家の期待に応える予算編成をお願いする。(立山秀喜)
- (経済課長) 今年度は要望20件に対し、対応14件で積み残しは6件だった。

質疑 庁舎建設関連の総額回答が、課によって異なる

- まちづくり課から年度をまたいで総額24億4000～5000万円の回答に対して、総務課から備品引越越し費用やLAN配線費用など約1億円は含まれていないと追加。他の課の予算範囲だからの考えでは膨らんでいく。(杉村)
- (町長) 総合的な担当課はまちづくり課。ただ担当課に任せるのではなく全ての課が一つにまとまって対処、説明できるように進めていく。



2 〈第13号議案〉平成30年度南関町宅地分譲事業特別会計補正予算(第1号)について

質疑 販売できていない2区画分について

- 補正で減らされ、新年度予算でまた計上されているが、売買見通しはあるのか？(杉村)
- (町長) 続きの土地なので2区画合わせての分譲も含めながら、広報等で周知しているが、新年度中に売買したく更に力をそそいで行く。

質疑なし全会一致で、可決された議案です。

※全ての議案は、事前の常任委員会・全員協議会で、質疑・議論を経ています。

森林環境譲与税	森林整備等に必要な安定的財源の確保を図るため〈第1号〉	全会一致 可決
うから館	4月1日からのうから館管理等の条例を設定する〈第2号〉	全会一致 可決
町税条例の一部改正	うから館の入湯税の部分を削る〈第3号〉	全会一致 可決
火葬場条例の一部改正	火葬場使用料の区分の対象者を明確にするため〈第4号〉	全会一致 可決
学童保育	放課後児童支援員の資格を広げる〈第5号〉	全会一致 可決
30年度補正予算	一般会計補正予算および特別会計補正予算〈第6号～第12号〉	全会一致 可決
31年度当初予算	特別会計予算〈第15号～第21号〉	全会一致 可決
固定資産評価審査委員	西島 文郎氏、大原 マツ子氏、坂本 裕美氏を同意〈第22号～第24号〉	全会一致 可決
意見書	安心・安全の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める〈議員提出議案第1号〉	全会一致 可決

要望書・陳情書・請願書の取り扱い

陳情
第2号

米田地区の道路改良工事等の早期実施を求める陳情

➡工事の実施状況を見守り早期に工事完了を進める為。(総務産業常任委員会)

継続審査

陳情
第5号

医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情

➡医師数をOECD平均以上の水準に増やすことは不可能な為。(文教厚生常任委員会)

不採択

陳情
第7号

安心・安全の医療・介護の実現と夜勤勤務交代制労働の改善を求める陳情

➡安心・安全の医療・介護の中で、十分なサービスが提供できるよう早急な改善を求めるものである。また同時に報酬の改善についても申し入れていきたい。(文教厚生常任委員会)

採択

委員会
研修報告

天草市のイノシシによる農作物被害対策研修 玉名市天水町大型誘導捕獲罠視察 上天草市農業競争力強化農地基盤整備事業視察

総務産業常任委員会

委員長 橋永 芳政

期日 平成31年1月23日～24日

天草市の有害鳥獣対策事業実績・・・最大捕獲頭数:27年7,281頭、捕獲隊員:258人、侵入防護柵整備事業実績 H23-29年計:施工箇所61カ所・事業量 64,702㎡・総事業費58,564千円・国県補助金56,079千円。今後は、地域ぐるみで野生鳥獣を集落に寄せ付けない環境づくりに向けた講習会等を行い住民主体の被害防止活動を推進されていた。南関町でも町と地域支援住民とで被害防止策を推進したい。玉名市天水町の大規模誘導捕獲罠視察・・・約30aの囲いをつくり大量のえさでイノシシを誘い込みICTを活用した捕獲施設。市職員の話では設置費(180万円/1施設)がかかる割に効果が上がらないとの評価だった。



委員会
研修報告

豊後高田市の寺子屋塾について 杵築市の地域ケアについて

文教厚生常任委員会

委員長 井下 忠俊

期日 平成31年1月15日～16日

豊後高田市・・・学校選択制の導入や公営の「学びの21世紀塾」と独自の教育環境を開設されていた。「学校に行くのが楽しいか」の問いに「楽しい」と全国レベルより高い数値、学力も大分県下でトップレベルにある。「住みたい・住んでみたい町」にもランクインする要因ではと思った。

杵築市・・・「いきいき100年ライフをおくる」をテーマに、これまでは個人ではできないことをサービスで補う補完型から、地域ケア会議により関係の多職種協働による自立阻害要因の追及などによる高齢者の方たちの意識改革に至った。両市の取組みは南関町への参考になった。



委員会
研修報告

議会だよりの先進自治体視察 〈大刀洗町:全国町村広報コンクールで3年連続入選〉

広報常任委員会

委員長 中村 正雄

期日 平成31年2月6日

いろいろ学ぶことあり、見習いたいと思った点・・・

- 発行までの日数 30 日間:録音媒体のデジタル化の差。
- 一般質問の 600 文字化:多く書いても読まなければ意味がない。
- 視覚的な誌面構成重視:余白のバランス、見出しを見て読む気が高める。
- 住民と双方向:一方通行でなく町民の声、傍聴者の声など増やしていった。
- 議会改革:「議会力そのものの向上」「議会が活性化すれば議会だよりのおもしろさ面白くなるはず」とセットで取り組ませていた。



研修を受け入れました。

平成31年2月6日 菊陽町議会運営委員会 様

広報常任委員会

委員長 中村 正雄

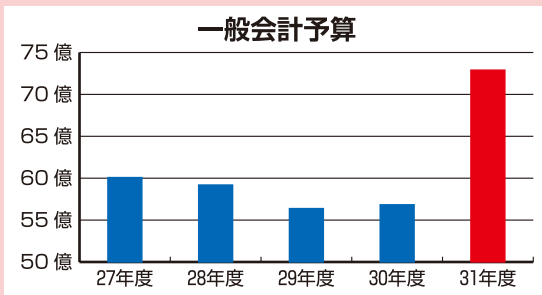
南関町にて議会だより発行を常任委員会化した経緯と効果についての目的だった。その中で「生の声を聴く」に関心が高かった。



比べてみました!!

31年度一般会計予算編

平成31年度南関町一般会計予算 72億9001万8000円



一般会計予算の総額が大幅に増えました。

大型予算として庁舎建設費14億1200万円と周辺道路及び関連費用が計上されました。

■庁舎建設費関係の総額（年度を渡ったトータル）

30年度の解体工事から始まり、31年度庁舎本体工事、町道整備、防災広場・駐車場そして移転費用など、32年度までにかかる総予算は、約25億5000万円と示されました。

今後その他大型予算

せきすい斎苑の改修、B&G改修そして防災無線デジタル化など予定されています。

また、これから構想化スタートする南関版コンパクトシティ事業も、内容により予算が大型化することもあります。このように、町の基本的インフラ整備に大型予算が続いていきます。

3月議会の議案審議において、4名がこの件に関して質疑を行いました。

今後の町財政状況を注視していく必要があります。『積立金残高』は貯金に相当するもので現在30億円強、『地方債残高』は借金高に相当するもので現在60億円強あります（参照：52号に掲載）。並行して行政支出の見直しなどにも取り組んでいく必要もあります。

歳入

・・・多い順に並べてみました。

%は構成比率

〈前年〉

過去5年間の推移

項目	前年	過去5年間の推移
町債〈借金〉 26.8% 19億5310万円	6億9390万円 	町債
地方交付税 24.8% 18億1000万円	18億円 	地方交付税
町税 (町民税)(町たばこ税)(固定資産税) (軽自動車税)(入湯税) 16.4% 11億9523万円	11億5752万円 	町税
国庫支出金 (国庫負担金)(国庫補助金) (国庫委託金) 16.4% 6億9293万円	6億9869万円 	国庫支出金
県支出金 (県負担金)(県補助金)県委託金) 6.0% 4億3638万円	4億7441万円 	県支出金

「町債」は年度分の借金に相当するものです。歳出が増加した大半を新たな借金で補っています。これまでの借金額合計は「地方債残高」です。

繰入金	5億579万円
地方消費税交付金	1億8000万円
使用料及び手数料	1億1660万円
寄付金・諸収入	1億150万円
繰越金	1億円
諸収入	5844万円
分担金及び負担金	5754万円
地方譲与税	5500万円
ゴルフ場利用税交付金他	2607万円

上位5つで、60億8764万円 全体の83.5%になります。


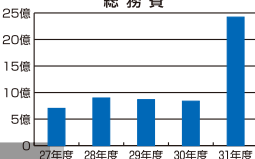

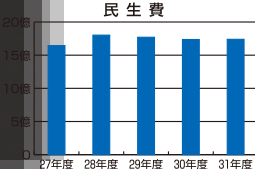

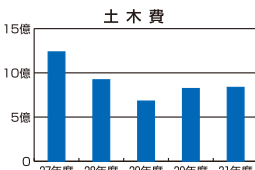

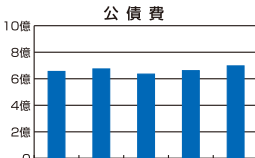

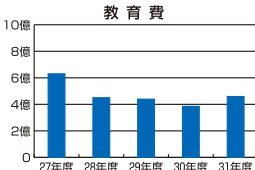
歳出

・・・多い順に並べてみました。

%は構成比率

〈前年〉

過去5年間の推移


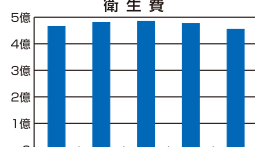

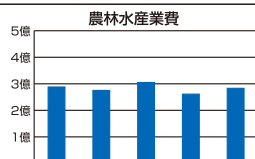

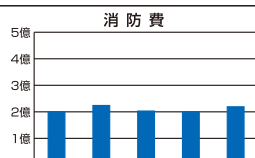

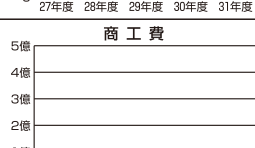

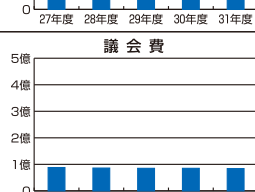
<p>総務費 (総務管理費) 33.2% 24億2066万円</p>	<p>9億3661万円</p> 	<p>総務費</p> 
<p>民生費 (社会福祉費) (児童福祉費) 23.9% 17億3921万円</p>	<p>17億3617万円</p> 	<p>民生費</p> 
<p>土木費 (土木管理費)(河川費) (道路橋梁費)(住宅費) 11.5% 8億3598万円</p>	<p>8億2346万円</p> 	<p>土木費</p> 
<p>公債費〈借金返済〉 9.6% 6億6135万円</p>	<p>6億9701万円</p> 	<p>公債費</p> 
<p>教育費 (教育総務費)(小学校費)(中学校費) (社会教育費)(保健体育費) 6.3% 4億5866万円</p>	<p>3億8508万円</p> 	<p>教育費</p> 

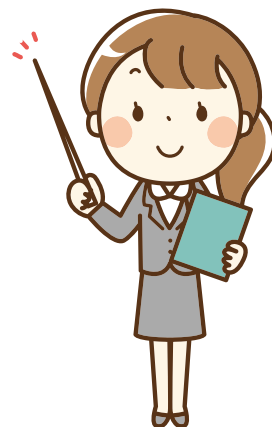
「総務費」の急増は、
庁舎建設費用関係が計
上されました



「公債費」は借金に相
当する「地方債残高」
の利子など含む、年間
の返済金額です。
借金額が増えたので、
返済額もしばらく増え
るでしょう。

上位5つで、61億5152万円 全体の84.4%になります。

<p>衛生費 (保険衛生費)(清掃費)(水道費) 6.2% 4億5355万円</p>	<p>4億7586万円</p> 	<p>衛生費</p> 
<p>農林水産業費 (農業費)(林業費) 3.8% 2億8280万円</p>	<p>2億6144万円</p> 	<p>農林水産業費</p> 
<p>消防費 3.0% 2億1924万円</p>	<p>2億0055万円</p> 	<p>消防費</p> 
<p>商工費 1.2% 9061万円</p>	<p>1億0942万円</p> 	<p>商工費</p> 
<p>議会費 1.1% 8396万円</p>	<p>8525万円</p> 	<p>議会費</p> 



一 般 質 問

みなさんの生活にかかわる大切な内容について質問しました。

- ・一般質問の記事：質問した議員が1300文字程度に要約して執筆したものです。原文を尊重して掲載しています。
- ・発言が「～である」調に記載されていますが、質問・答弁共に丁寧語で発言されています。
- ・「会議録」は南関町図書館および町ホームページで閲覧できます。3月議会分は5月に公開予定。



議会運営委員会委員長
文教厚生常任委員
広報常任委員

鶴地 仁

鶴地 「将来の児童生徒数の予測とICTの活用に向けた取り組みは」「町主催のイベント等に対する危機管理はどのようになっているか」

る。南関町も高森町のレベルになっていないとおかしい。ICTの活用能力、県内でどの程度のレベルか。

(教育長) 高森町、山江村を基準にするとまだまだ遅れている、今からそこを目指して追いついていく必要があると思っています。

2月の新聞に鹿児島市から子どもの教育ためにICT教育を理由に山江村に引越してきた家族の紹介があった。また、高森町の英語の遠隔授業が紹介されていた。町内に一人しかいないALTが遠隔合同授業を行っているという記事。自然に恵まれた田舎の良さとICTの活用で転出防止、転入増を目指すことも夢ではないと思う。毎年、学力向上研究発表会をされているが、ICTへの取り組みに切り替えられたら如何か。

(教育長) 研究指定校では新年度からはICTを活用した授業に取り組むということを条件にしている。英語教育の遠隔授業もALT、小学校の英語の先生を活用した授業づくり、ICTを活用した授業がもっと多くなっていくと思う。



まとめ

ICTの活用は非常に大きいものがあると思う。高森町、山江村に追いつき追い越せの取り組みを期待する。

イベント等での危機管理

事故防止対策はマニュアル化されているか。チェックリストは作られているか。

(町長) 町では関所健康マラソンなどのスポーツイベントやふるさと関所祭りなど、大小さまざまなイベントを開催しており、危機管理は大変重要であると考えているが、マニュアルとしてまとめたものはない。

4月の関所健康マラソンコースの安全確認をどのようにするか。町の商店街通りにいつ倒れても不思議でない標識柱がある。堀池園地区の通学道路では、いつ瓦が落ちてもおかしくない屋根がある。マニュアルに沿ってチェックリストがあればすぐに判る。

(教育課長) 誰が行っても判るようなチェックリストというものを早速今年度の関所健康マラソンから対応したい。



まとめ

事故が起きてからでは遅い、誰にでも判る、見落としがないようなチェックリストで対応すべき。

児童数とICT教育

効果的授業を行うには適正な児童生徒数が望まれるが、10年、15年後の児童生徒数の予測はどうなっているか。少人数ではグループ学習やいろんな考え方を知る機会が減ってしまい、複式学級になれば授業の効率が落ちてしまう。ICTを活用した遠隔授業、合同授業の取り組みに対しての構想と教員の技術力向上に向けた取り組みはどうか。

(教育長) 児童生徒数の予測として、今後6年間はほぼ同数の推移と見込むが、10年、15年後の予測については、人口動態推計を参考にすると減少にあることは確かなようである。ICTを活用した授業については、来年度から授業改善に積極的に取り組むよう計画した。遠隔合同授業の実施については、項目として位置づけている。教員の技術力向上については、2022年度には町内全教員がICTを活用して指導できるよう計画している。

先進的な高森町がICT教育に取り組まれたのが8年前、文教厚生委員会が視察に行ったのが4年前、そのときに報告書を出して4年経ってい